

2月臨時会総括

地域の自主性及び自立性を高めるため、改革の推進を図る関係法律の、整備に関する法律の施行に伴い、地域一括法に関連する9件の条例案を審議する2月臨時会が12日より14日までの3日間開催されました。

この議案は、地方自治体の条例制定権を拡大し法制的な観点から地方自治体の自主性を強化し政策の自由度を拡大させ、市が主体的かつ総合的な行政主体としての役割を担えるようにする考えから、市指定地域密着型サービス、同介護予防サービス、一般廃棄物処理施設、市営住宅整備、公園整備などに関する条例制定9議案を委員会付託し、2日間の委員会審査の結果、14日最終本会議で、委員長報告と採決が行われ、条例案9件は原案通り可決されました。



3月定例会総括

平成25年3月定例会は、3月6日より22日までの17日間の会期中、開催されました。国は日本経済再生に向けて、金融政策、財政政策、成長戦略の3本の矢を一体として政策を実行しています。下田市は、厳しい財政状況が続いている中、認定こども園建設事業を中心とする、防災、経済活性化の3点の重点事業を、中心に定めた平成25年度の施政方針にそった主要施策のまちづくり事業を予算化しました。3月8日には楠山市長が新年度の施政方針を述べました。今回の定例会は、新年度予算93億3500万円を計上した一般会計と、9つの特別会計の各平成25年度予算案と、国の大型補正予算により、前倒しの公共事業費など5億6800万円を追加する平成24年度一般会計補正予算など、計26議案を審議しました。平成24年度一般会計補正予算には、認定こども園建

設4億8600万円、須崎漁港水産整備1億円、白浜漁港水産整備2700万円などが計上され総額101億7600万円となり、平成24年度各補正予算案5件と、12月定例会で継続審査とした、市任期付職員採用に関する条例制定案は可決されました。

新年度一般会計予算93億3500万円の主要事業は、認定こども園造成工事3億7千万円、津波避難施設整備5千万円、寝姿橋耐震補強工事7005万円、中学生二ユーポート派遣事業120万円、下岡蓮杖プロジェクト180万円、予防接種事業4674万円等を盛り込みました。定例会最終本会議において、平成25年度の各予算案、委員会付託していた14議案、議員発議の市議会委員会条例と、会議規則の一部改正、意見書の2件の18議案は、可決されました。須原集会所建築費の区民負担軽減にみどりの基金の一部処分を求める請願書については現状の、運用基準に合致しないため、

不採択としました。一般質問には6氏が立ち、防災減災対策、旧下田ドック跡地再開発地区計画、経済活性化、教育問題、下田メデイカルセンターの充実などについて、市の取り組み及び方針をたえました。その中で下田市の新庁舎移転について、再検討の方針が出されたため、3月11日新庁舎建設位置の変更に関する緊急質問書が出されました。

総務文教 常任委員会

- 委員長 土屋雄二
- 副委員長 竹内清二
- 委員 伊藤英雄 大黒孝行
- 田坂富代 森 温繁
- 大川敏雄

条例

議第22号 下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
自立支援医療(育成医療)

の権限移譲に伴い、自立支援医療費の支給認定に係る医師の報酬を定めるためのものです。自立支援医療嘱託医日額1万円(賀茂郡下一律)です。この条例は平成25年4月1日から施行します。
議第23号 下田市立公民館設置管理条令の一部を改正する条例の制定について
下田市立公民館設置管理条令から下田市立須原公民館の部分を削除しました。下田市立須原公民館は昭和33年に建築され老朽化も激しく、耐震工事も不可能の為、地元役員と協議の上、今後は、平成25年3月議会で議決のとおり4月1日廃止され、公民館費(287万2千円)で解体し下田地区集会所建築補助金(327万6千円)を建築費の一部として6月16日の県知事選挙の投票所とし集会所の披露も兼ねてオープンしたことの事です。委員会では社会教育施設として、地域コミュニティの有りに根本的な方針を明確にして行くべきとの要望がありま

・説明会では幼稚園の周辺に集合するスタイルが示されていたが、保護者とするとの家の近くでの乗降車を希望する。

平成25年度早々に再度案を持って保護者の意見を聞くこととした。前回説明会でも、提示した料金が高い、割引制度の導入、乗降車位置の拡充などの意見はもらっている。しかし、運行経費や民間保育所等とのバランスも重要になることから、保護者要望と費用対効果の両面から運行計画をまとめたい。

【検討作業】

○認定こども園の運営方針
〈質疑要望〉
・認定こども園で行われることと今幼稚園で行っていることの違いがよくわからない。

△回答
今までの説明会でも概要については説明を行ってきた。詳細については現在検討を進めているので、次回の説明会にはより具体的な内容

を持って伺いたい。

○情報提供

△平成26年度入園を検討するためには保護者にできるだけ早く選択する施設の情報が必要。保育所(民間含む)、幼稚園の、園の概要、行事、防災対策等を比較できる形で示してもらいたい。
・説明会でも、園行事等決まっていけないという説明しかない。早く案を決めて示してもらい、具体的な話し合いをしたい。

△回答

平成25年度早々に再度案を持って保護者の意見を聞く予定であるので、それまでに各園の施設や運営の概要、防災対策等が比較できるような資料を作成し、提供したい。具体的な事項について、今まで行ってきた説明会やアンケート結果などを踏まえて検討しているので、これも次回説明会では踏み込んだ意見交換にしたいと考えている。

総務文教常任委員会では、こども園の運営規定の構築にあたり、今後も保護者の皆様ならびに入園するお子様たちの利便性に配慮した規定作成に引き続き注視を行ってまいりますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



●意見書提出●

- ◎平成25年3月22日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣に提出しました。
- ・ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

- ◎平成25年3月22日に地方自治法第99条の規定により、静岡県知事に提出しました。
- ・伊豆中央道・修善寺道路の早期無料化と江間交差点のフルインターチェンジ化を求める意見書

2月臨時会審議結果

番号	2月臨時会議案件名	審議結果
議第1号	下田市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第2号	下田市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第3号	下田市一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格基準を定める条例の制定について	原案可決
議第4号	下田市道路構造の技術的基準及び道路標識の寸法を定める条例の制定について	原案可決
議第5号	下田市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議第6号	下田市営住宅等整備基準を定める条例の制定について	原案可決
議第7号	下田市都市公園の設置基準を定める条例の制定について	原案可決
議第8号	下田市公共下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理の基準を定める条例の制定について	原案可決
議第9号	下田市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の制定について	原案可決